



新型コロナウイルス

ワクチン情報



今月号では国内で接種が始まるファイザー社のワクチンについてお伝えします。このワクチンは、私たちが持つ体内の異物を攻撃する免疫の仕組みを利用して新型コロナウイルス感染症の発症を予防するものです。



本ワクチン接種にあたって注意が必要となる方

下記にあてはまる方はファイザー社製ワクチンの接種について、注意が必要です。該当すると思われる場合は、事前にかかりつけ医に相談していただくと安心です。予診時には必ず医師へ伝えてください。

- ①抗凝固療法を受けている方、血小板減少症または凝固障害のある方
- ②過去に免疫不全の診断を受けた方、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ③心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある方
- ④過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた方
- ⑤過去にけいれんを起こしたことがある方
- ⑥本ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある方
- ⑦腎機能障害や肝機能障害のある方

【その他注意が必要な場合】

- 高齢の方は、ご自身の健康状態について接種前の診察時に医師へ伝えてください。
- 妊婦または妊娠の可能性のある方、授乳中の方について、現時点では中長期的な副反応、胎児や出生児への安全性、母乳中への移行は研究が完了していないため、わかりません。接種を希望する場合は、産婦人科の主治医と十分にご相談ください。
- 16歳未満の方に対する有効性・安全性は現時点ではまだわかりませんので、現時点では接種対象外となっています。

住所地外で接種を受ける場合

ワクチン接種は安定的なワクチン配分のため、住民登録をしている市区町村で受けられますが、やむを得ない事情がある場合、例外的に現在いる場所で接種を受けることができます。その際は、住民登録している市区町村の接種券が必要です。



現在いる市区町村に申請が必要な方

- ・出産のため里帰りしている妊婦
- ・遠隔地へ下宿している学生
- ・単身赴任者 等

申請が不要な方

- ・長期入院・施設に入所している方
- ・基礎疾患を持つ方が主治医の下で接種する場合
- ・災害による被害にあった方
- ・拘留または留置されている者、受刑者 等